

プラスチック分別収集・再資源化モデル事業の実施結果

(1) 事業の趣旨

プラスチック資源の収集量や組成等を把握し、分別・排出及び収集運搬の方法等について検討する。

(2) 実施地区（2地区）

- ・中央区仁戸名町松ヶ丘小学校区 配布対象724世帯
- ・美浜区幸町1丁目千葉ガーデンタウン 配布対象1,343世帯

※市連協ごみ問題検討委員会で2地区を選定

（戸建住宅・集合住宅から選定）

(3) 実施期間

令和6年8月から12月までの5か月間

- ・中央区仁戸名松ヶ丘小学校区 22週
- ・美浜区千葉ガーデンタウン 21週

(4) 実施方法等

- ①分別方法 プラスチック資源（3頁参照）
- ②排出方法 モデル事業用袋で、決められた曜日（週1回）に、ごみステーションへ排出
- ③収集運搬 プレスパッカー車による委託回収
- ④再商品化 固形燃料化（製紙工場等で活用）



(5) 周知・啓発について

- ① 住民説明会等の開催、ケーブルTVでの放映
- ② 市HPに事業概要を掲載、動画の配信
- ③ モデル地区内の各世帯へモデル事業リーフレット等の配布
- ④ ごみステーション看板・周知看板の掲示
- ⑤ 分別早見表の回覧、配布
- ⑥ ごみステーション早朝啓発、イベントでの周知



千葉市
家庭ごみステーション
8月から12月まで、
プラスチック資源を分別収集します。

プラスチック資源の分別にご協力ください。	プラスチック資源	水曜日
	木の枝 刈り草・葉	第2・第4 火曜日
	古紙・布類	金曜日
	びん・缶 ペットボトル	土曜日
	可燃ごみ	月曜日 木曜日
	不燃ごみ 有害ごみ	第1・第3 火曜日

千葉市廃棄物対策課 ☎043-245-5236

**プラスチック分別収集・再資源化
モデル事業が始まります!**

実施期間
令和6年 8月～12月

実施地区・プラスチック資源の収集日

中央区仁戸名町 松ヶ丘小学校区	美浜区幸町1丁目 千葉ガーデンタウン
毎週 月曜日 (祝日収集実施)	毎週 水曜日
初回(8/5) 最終回(12/30)	初回(8/7) 最終回(12/25)

Q なぜプラスチックを分別収集するのですか?
A 脱炭素化をはじめとする地球温暖化対策や海洋プラスチック削減等のため、「プラスチックごみ」を分別収集し、「プラスチック資源」として再資源化していくことが必要です。
 今年度、プラスチック資源の分別ルールや収集の方法を検討するためのモデル事業を実施しますので、対象地域の皆様におかれましては、お手数をおかけしますが、プラスチック資源の分別・排出にご協力くださいますようお願いいたします。

**プラスチック
分別収集・再資源化
モデル事業を実施します!**

地球温暖化対策、
海洋プラスチック削減のため、
各家庭でのプラスチック資源
分別にご協力をお願いします!

実施期間：令和6年8月～12月
モデル地区：仁戸名町松ヶ丘小学校区内

モデル事業について詳しくはこちら→

お問い合わせ先
千葉市環境局資源循環部 廃棄物対策課 ごみ削減推進班
☎043-245-5236 平日8:30～17:30
@haikibutsutsaisaku.ENR@city.chiba.lg.jp



モデル事業における 分別対象物

これってプラスチック資源？
排出前にもう一度考えてみて！

ごみ削減キックスタート
へらそうくん

電池や電球
金属類
洗濯用ハンガー
(一部金属)

これはプラスチック資源
ではありません！

不純物が混ざると、
キレイなプラスチック資源
が再資源化できなくなる
可能性があります。

電子機器や
長さが50cm以上のもの
排出できるのは・・・
100%プラスチック素材のもののみです！
今一度ご確認ください。

プラスチック分別をより便利にするため、
分別早見表を作成しました！

迷ったときにご利用ください！
リーフレットの分別早見表は、
市ホームページでも確認できます！

分別早見表
(市ホームページ)

分別早見表は次のページへ！

プラスチック分別収集・再資源化モデル事業用 分別早見表

50音順	品目(素材など)	分別区分	備考
あ	アイスの袋やカップ(プラスチック製)	7-2	軽くすいで排出
	アスクリームの付属スプーン(プラスチック製)	7-2	〃
	アイロンケース(プラスチック製)	7-2	
	アサセラーのケース・容器(プラスチック製)	7-2	
い	アクリル板	7-2	厚さ5mm以上のもの、指定袋に入らない場合は粗大ごみ
	あめの個包装・包み・袋(プラスチック製)	7-2	
	油の入った容器(プラスチック製)	7-2	使い切って、軽くすいで排出
	衣装ケース(高密度)	7-2	指定袋に入らない場合は粗大ごみ
	衣料品の外袋	7-2	
	衣料品の詰め具(プラスチック製)	7-2	
	インスタントコーヒーびん(プラスチック製)	7-2	
	インスタントコーヒー詰め替え用の袋(プラスチック製)	7-2	
	インスタントラーメンのタレ・具の袋(プラスチック製)	7-2	汚れが取れにくい可燃ごみ
	インスリン注射器(針以外の部分)	7-2	リサイクルに適さないため市では収集しません。医療機関又はバイオハザードマークのある薬用へ持ち込んでください。
インスリン注射針	7-2	可燃物	
う	ウィンナーの包装(プラスチック製)	7-2	
	植木ポッド(プラスチック製)	7-2	土を落とし、軽くすいで排出
	ウォッシャー液容器(プラスチック製)	7-2	軽くすいで排出

分別早見表



モデル事業における収集作業

2種類のプラスチックを同じ袋にそのまま入れて排出!

可燃ごみに出している

「やわらかいプラスチック」

不燃ごみに出している

「かたいプラスチック」



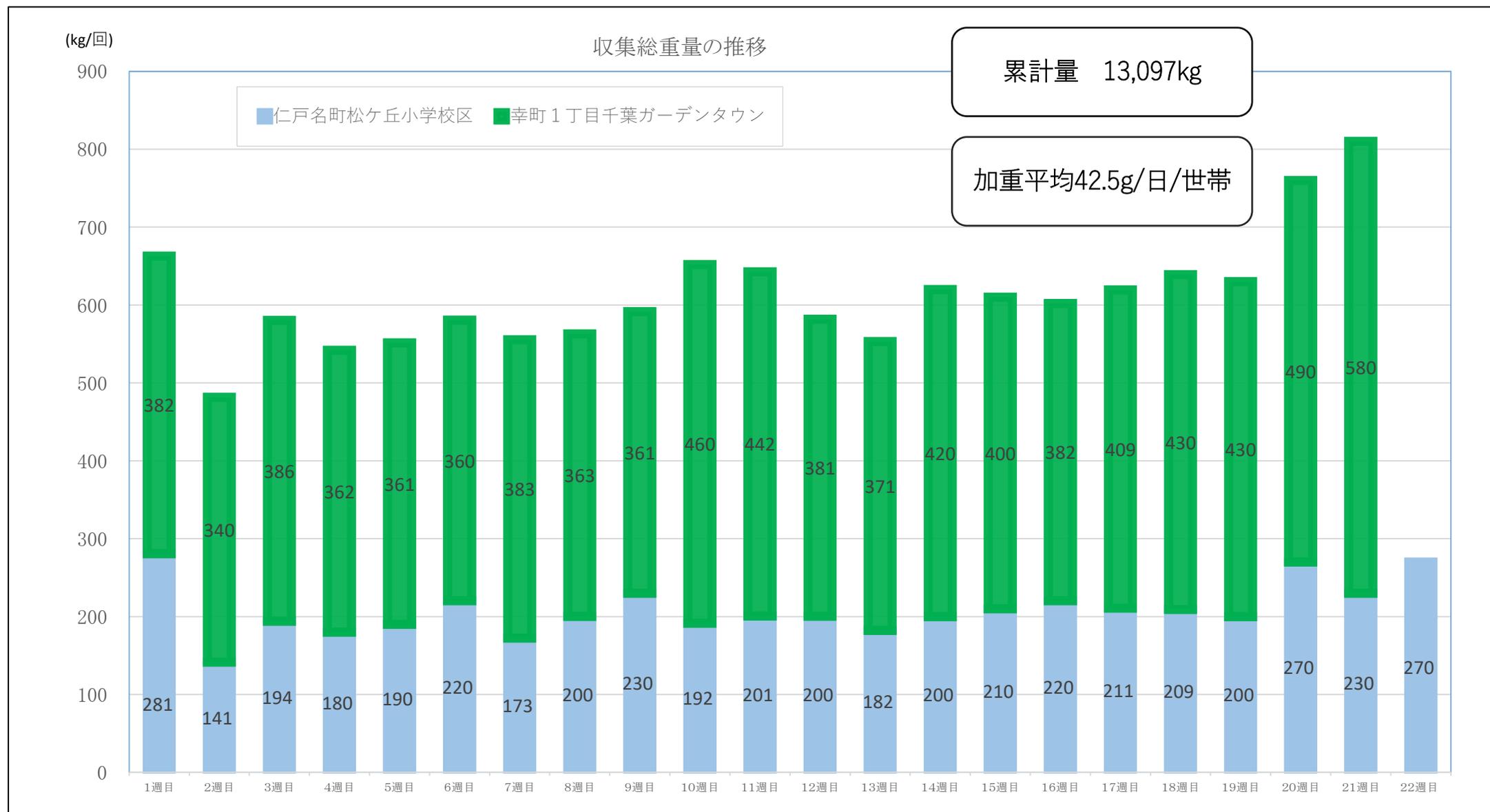
←やわらかいプラスチックはプラマークが目印!
(プラマークがない場合もごさいます。)

<p>ボトル類</p> <p>洗剤、スプレー、調味料</p>	<p>カップ・パック類</p> <p>卵パック、カップ麺</p>	<p>トレイ類</p> <p>刺身・肉類のトレイ</p>
<p>袋・ラベル類</p> <p>クリーニング袋 レジ袋、ラベル</p>	<p>発泡スチロール・緩衝材・ネット類</p> <p>発泡スチロール 気泡緩衝材、果物ネット</p>	<p>キャップ類</p> <p>ボトルキャップ 薬類やコーヒーのふた</p>



金属やモーター、電池などのプラスチック以外の素材が含まれる場合は対象外です。
※取り外せれば排出可能

(6) 収集量等の推移

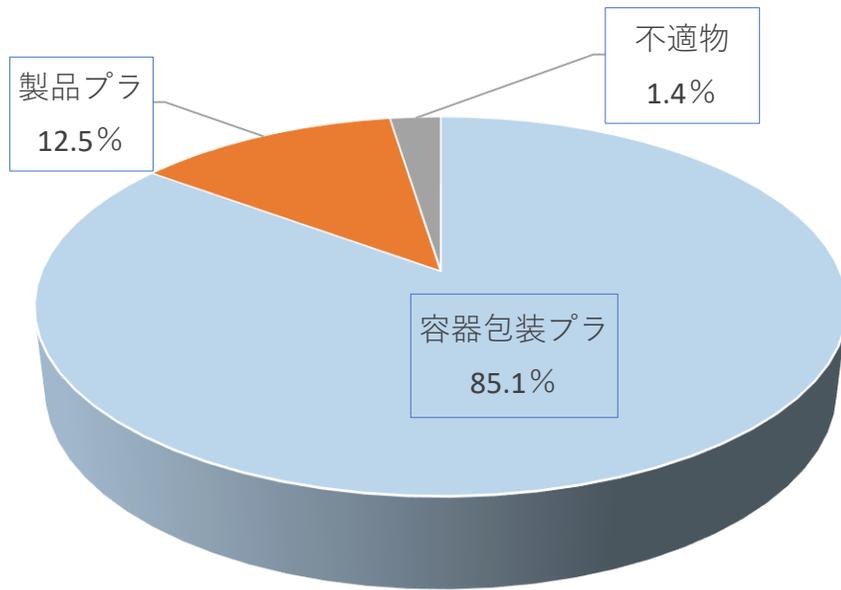


(7) プラスチック資源の組成分析の結果

重量比：容器包装85.1%、製品プラスチック12.5%、不適物2.4%

容積比：容器包装95.7%、製品プラスチック2.9%、不適物1.4%

組成分析によるプラスチック資源の組成(重量ベース)



組成分析測定調査

調査日：令和6年11月11日～14日

試料合計重量：131.9kg(253袋)

資料合計容量：6,021ℓ

組成データ

大分類	小区分	重量百分率 (%)	容積百分率 (%)
プラ容器包装	フィルム類	29.6	17.2
	パック類	22.8	41.2
	トレイ類	10.0	22.4
	ボトル類	6.1	3.0
	カップ類	5.9	7.2
	袋・ネット類	2.4	1.7
	キャップ類	2.3	0.4
	その他	1.2	0.7
	汚れがあるもの	4.9	2.0
製品プラ	台所用品	1.7	0.5
	収納用品	1.6	0.2
	洗面風呂用品	1.1	0.1
	文房具	0.7	0.0
	指定袋	4.0	1.2
	その他	2.6	0.5
不適物	汚れがあるもの	0.7	0.2
	分別違い	2.2	1.3
	規格外	0.2	0.2
合計		100.0	100.0



(8) モデル事業における排出原単位を基にした年間収集量の試算

【前回試算(世帯原単位:19週目まで)】

モデル事業ベースのプラスチック資源収集推計＝世帯原単位41g÷2.0人(町丁別世帯人員数)×985,077人(11月1日推計人口)×365日≒7,400トン

- ※モデル事業組成分析結果から、容器包装85.1%、製品プラスチック12.5%、不適物を2.4%で設定
- ※汚れについては改善を見込み、異物に含めずに推計

【データ更新予定】

2地区世帯原単位42.5g/人日

- ・仁戸名排出原単位:モデル事業収集量4,604kg÷22週÷7日÷対象世帯724世帯÷世帯人員数1.9人＝21.7g/人日
- ・ガーデンタウン排出原単位 モデル事業収集量8,493kg÷21週÷7日÷対象1,343世帯÷世帯人員数2.0人＝21.5g/人日
- ・モデル事業ベースのプラスチック資源収集推計＝加重平均21.6/人日×〇〇〇,〇〇〇人(将来推計人口)×365日≒〇,〇〇〇トン<100トン単位で整理>
- ※目標年度の計画人口で計算予定
- ※参考 政令市の容器包装プラスチック原単位26.4g/人日(令和4年度15市)

(9) モデル地区アンケート

週1回、一括回収による、プラスチック資源の分別収集の本格実施を望む声が多い。

- ・回収ひん度については、週1回の収集を希望する方が73%
- ・柔らかいプラスチックと硬いプラスチックを一緒に排出できることに87%の方が評価
- ・本格実施の際、「必ず協力する」または「できる範囲で協力する」と回答された方が97%、「できれば協力しない」と「協力しない」は2%

※アンケート調査結果：別紙参照

【ご意見】

- ・資源とごみを効率的に分けるシンプルなルールがよい。
- ・曖昧な部分が減ればもっと分別できるようになる。
- ・すすぎは、水道料金の無駄、手間も考慮すべき。
- ・ルールが厳しすぎず、楽しく分別できることが大切である。

①プラスチック製かどうか判断しづらいもの

- ・おもちゃ
- ・ヨーグルトのフタ
- ・インクが残っているボールペンの芯 など

②水ですすぎづらい品目

- ・油のボトルが入っていた容器
- ・クリーム状のものが入っていたパウチ
- ・シャンプー等の詰め替え用品のパック
- ・ドレッシングのボトル など

(10) モデル事業の評価

①モデル事業の成果

- ・100%プラスチックを対象とし、週1回収集とする実施方法は、概ね受け入れていただいている。
- ・ごみステーションの管理上、プラスチック資源の分別により大きな支障は生じていないことを確認した。
- ・パッカー車による収集運搬や収集作業は、他のごみと同様に対応できることを確認した。
- ・組成分析結果から、プラスチック資源の内訳(容器包装と製品)の比率を推定した。
- ・別途、年間収集量を試算する。

②改善すべき点の抽出

- ・市民の協力を得られるよう、合理的かつわかりやすい分別排出ルールに改善*するとともに、市民理解の促進やごみステーション管理に関する留意点*を抽出した。



モデル事業における収集作業

- * 分別に迷うものや不適物の排出を回避すべく、資源化対象を再検討
- * 水資源の節約、手間等も考慮して、すすぎ方の説明を改善
- * 啓発等による分別協力・理解促進の工夫
- * ごみステーションでの風による飛散防止 等